

ワークショップの  
まとめ方について

## まちづくりビジョンの具体化に向けて

- 平成25年度までに中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(以下、まちづくりビジョン)がとりまとめられ、今年度からまちづくりビジョンの具体化に取り組んでいます。
- まちづくりビジョンの具体化は、地域住民にとって身近なもの、行政が真摯に取り組まなければならないもの、地域住民自らが取り組むものなどをまとめることです。
- とりまとめられた取組や方策を、行政と市民が協働で実行することで、まちづくりビジョンの達成となります。

### 北杜市まちづくりビジョンの具体化

<平成26年度> 現在取組中

#### 『道路プラン』

・地域住民にとって身近な事象となるもの

・中部横断自動車道への整備にあたっての配慮事項のとりまとめ

現在取り組んでいる内容

<平成27年度以降> 取組予定

#### 『市民の取組プラン』

・地域住民自らが取り組むこととなるもの

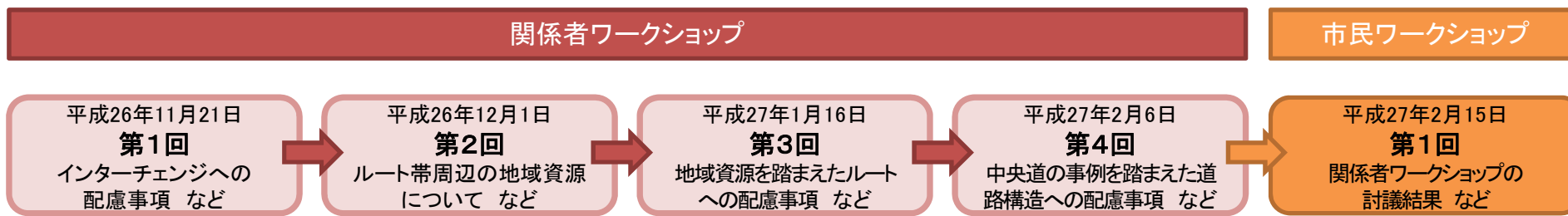
・中部横断自動車道を活用するための市民の取組のとりまとめ

<参考>

北杜市まちづくりビジョン(以下、「まちづくりビジョン」)は、既定計画である「北杜市まちづくり計画」を踏まえ、中部横断自動車道の整備を見据え、沿線地域の将来像を明らかにし、北杜市の恵まれた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組や方策等を、地域住民自らが主体的かつ計画的に推進するための指針となるものです。

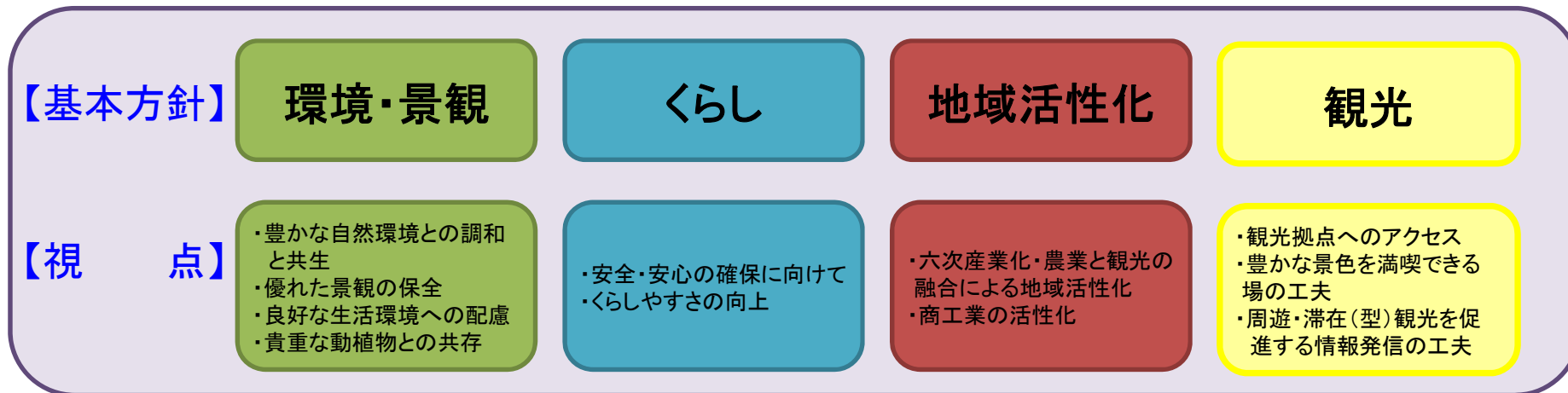
黒文字:平成25年度までにとりまとめられた「北杜市まちづくりビジョン」 青文字:平成26年度以降に取り組む事項

# まちづくりビジョンの具体化 とりまとめイメージ その1



それぞれのワークショップで出された意見の中から、道路プランに資する意見を、まちづくりビジョンの4つの分野(視点)に分類

## 【中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン（平成26年3月）】

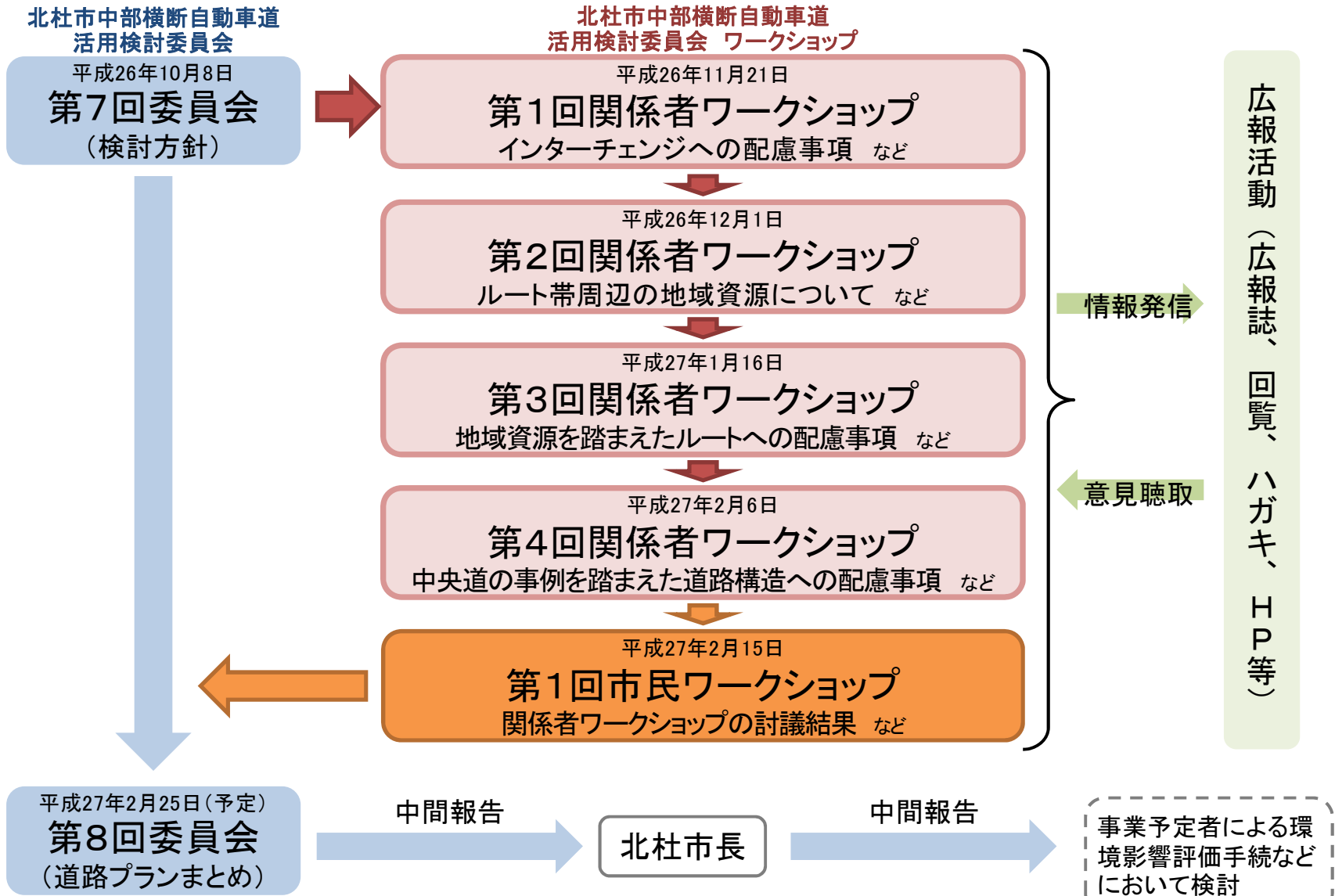


# まちづくりビジョンの具体化 とりまとめイメージ その2

まちづくりビジョン			道路プラン（素案）	市民の 取組プラン
分野	基本方針	視点		
環境・景観	多様な自然・環境・景観とともに	豊かな自然環境との調和と共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八ヶ岳をはじめとする市内から眺望できる山岳景観への影響を低減する道路構造</li> <li>・市内の集落・住宅地等を出来る限り回避したルート計画</li> <li>・市内の集落・住宅地等近傍にルート計画を策定する場合は、地域への影響を低減する対策を講じる</li> <li>・市内には豊かな自然環境、貴重な動植物が生息することから、事業実施にあたっては、環境調査の実施</li> <li>・ヤマネをはじめとする市内に生息する貴重な動物の保全対策（アニマルパスウェイ等）を講じる</li> <li>・フクロウをはじめとする市内に生息する貴重な猛禽類の保全対策を講じる</li> <li>・静寂な生活環境への影響を低減させるため、排水性舗装や低騒音舗装など道路構造での工夫に取り組む</li> <li>・満天の星空への影響を低減する道路照明の工夫</li> <li>・眺望を阻害しない案内標識など道路付属物の工夫</li> <li>・橋梁構造を周辺景観と調和した橋梁形式の採用 など</li> </ul>	<p>【平成27年度以降】</p> <p>関係者WS 及び 市民WSの 意見を元 に分類・ 作成</p>
		優れた景観の保全		
		良好な生活環境への配慮		
		貴重な動植物との共存		
暮らし	安全・安心で快適なくらしのために	安全・安心の確保に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や余暇活動の行動が容易となるエリアへのインターチェンジの配置</li> <li>・市内の防災拠点や医療拠点へのアクセスが容易となる幹線道路への接続</li> <li>・高齢者などにも運転しやすい、安全基準を満たした道路設計</li> <li>・ゲリラ豪雨などの異常気象や冬季の気象条件を考慮した対策の実施</li> <li>・ドライバーの安全確保のための待避所や登坂車線の設置</li> <li>・緊急時に近隣の道路からアクセスできる出入口の設置 など</li> </ul>	
		くらしやすさの向上		
活性化 地域	魅力あふれる元気なまちを目指して	六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の産業集積場へのアクセス性などの物流効率化の向上に資するエリアへのインターチェンジの配置</li> <li>・地元の農産物の販売経路を考慮したエリアへのインターチェンジの配置</li> <li>・地域住民が利用しやすい、市内幹線道路への接続 など</li> </ul>	
		商工業の活性化		
観光	にぎわい創出 玄関口づくり	観光拠点へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光拠点へのアクセスが容易となるエリアへのインターチェンジの配置</li> <li>・観光拠点へのアクセスを容易にする情報案内板や案内標識など道路付属物の工夫</li> <li>・国道141号や八ヶ岳広域農道（愛称：レインボーライン）など市内幹線道路への接続</li> <li>・道路利用者や観光客に休憩とともに豊かな景色を提供できる場の設置 など</li> </ul>	
		豊かな景色を満喫できる場の工夫		
		周遊・滞在（型）観光を促進する情報発信の工夫		



# 今後の流れ(予定)



まちづくりビジョンを達成するため地域住民や行政が  
主体となって取り組むべき「市民の取組プラン」の具体的な検討へ